

平成29年度第1回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会
発達支援部会会議録

日 時 平成30年2月20日（火）午後4時30分～午後5時45分

場 所 鎌ヶ谷市役所地下1階 団体研修室

出 席 菅谷幸乃部会長、平沢真哉副部会長、土屋知子部会員、星山伸夫部会員、
藤原美恵子（鎌ヶ谷市学校教育課副主幹）、林恵利部会員（鎌ヶ谷市健康増進
課主任保健師）、佐藤佳子部会員（鎌ヶ谷市こども発達センター分室主幹）、
松村幸江部会員、須鎌ひろみ部会員、熊谷みゆき部会員（鎌ヶ谷市障がい福祉
課保健師）

欠 席 福田弘子部会員

事務局 （障がい福祉課） 斉藤実障がい福祉課長、中村浩主任主事、秋本卓主事
（鎌ヶ谷市基幹相談支援センター） 渡辺恵美子所長

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・ 式次第
- ・ 資料1 鎌ヶ谷市基幹相談支援センターリーフレット
- ・ 資料2 部会編成イメージ図
- ・ 資料3 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会「地域連携部会」設置に関わる地域課題の抽出、整理のためのワークショップの開催について
- ・ 資料4 平成29年度鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会研修会のお知らせ

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数が会議開催の定足数である過半数を充たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

<部会員の変更について>

鎌ヶ谷市学校教育課より選出されていた野中幹子氏に代わり、藤原美恵子氏が、鎌ヶ谷市障がい福祉課より選出されていた岩田友理子氏に代わり熊谷みゆき氏が、本日から平成30年3月31日までの任期で選任された旨報告した。

2 報告事項

(1) 鎌ヶ谷市基幹相談支援センターについて

事務局より、鎌ヶ谷市基幹相談支援センター（以下「基幹相談支援センター」という。）の利用方法などについて資料1のとおり説明した。

(2) 専門部会等の改編案について

事務局

平成29年度は、基幹相談支援センターの立ち上げと、第5期障がい福祉計画の策定が重なったため、これまで専門部会の会議開催を休止していた。この休止期間中に、鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）の正副会長及び各専門部会の正副部会長に協力いただき、専門部会の運営での問題点について意見交換を行い、そこで出された意見をもとに作成したのが資料の改編案である。現在平成30年度からの専門部会の改編に向けて検討を行っている。

資料2及び資料3について説明。

地域の課題やニーズの抽出を専門的に行う「地域連携部会」の新設が今回の改編のポイントの1つになるが、地域の課題やニーズをどのように抽出して検討していくのが良いのかという運営方法については、まだ詰めきれていない部分が多い。そこで、試みとして、障がい福祉に関わる市内の事業所、団体に広く声を掛けて、資料3のとおりワークショップを開催することとした。ワークショップを通じて運営方法を探っていきたいと考えている。

部会員

改編案では「地域連携部会」、「こども部会」、「権利擁護部会」、「就労支援部会」の4部会が示されているが、ワークショップを通じてこの部会編成が変わることもあるのか。

事務局

十分あると考えている。改編案はあくまで机上での構想なので、ワークショップを通

じて具体的な課題がでてくれば、それによって部会の編成を再考し今と違う形になることもある。

部会員

障がい分野には様々な課題があると思うが、改編案では、課題を検討する部会は、「こども部会」、「権利擁護部会」、「就労支援部会」の3部会になっている。それらの部会に割り振れない課題も出てくるのではないか。

事務局

ワークショップを開催することで、その点も確認したいと考えている。改編案に示した部会に割り振ることのできない課題が出てくることは十分想定される。その場合、部会を新設する前段として、地域連携部会に課題抽出機能とは別に、専門部会に割り振れない課題の検討という機能を持たせてはどうかという案もある。この点もワークショップを通じて実情を把握し検討したい。

部会員

ワークショップで「個別の課題」を挙げてもらい地域の課題を探るということだが、「個別の課題」には、障がい者の課題、支援者の課題、場合によっては事業所運営の課題まで、参加者それぞれの立場や、考え方でだいぶ違ってくると思う。「個別の課題」の範囲を決めなくていいのか。

事務局

今回のワークショップは鎌ヶ谷市の「ありのままの実態の把握」という面が大きいので、範囲の設定はせず、日ごろ思っていること、感じていることを自由に発言してもらえればいいと考えている。

範囲を設定して課題を抽出した方が「検討する」という面では効果的だと思うが、今回は、障がい分野に関わる皆さんがどんなことを考えているのかを知り、皆で協力していける自立支援協議会とはどんな形のものなのかを探る材料としたい。

皆さんがイメージする「ワークショップ」のずっと手前の段階のものだと考えてもらいたい。

3 その他

事務局より、資料4をもとに協議会の研修会について説明した。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成30年3月12日

氏名 佐藤 佳子 _____

氏名 熊谷 みゆき _____